

【情報公開文書】

2020 年 1 月 24 日作成

Ver.2.03

研究課題名	聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育方法の開発等に 資する研究 2
所属（診療科等）	長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
研究責任者	佐藤 智生 （助教）
研究機関	本研究は長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科を中心に全国、県内（実施 体制に応じて修正）約 40 施設で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」まで ご連絡ください。
研究期間	2020 年 3 月 24 日～2025 年 3 月 31 日
研究目的と意義	本研究の目的は以下です。 先天性高度難聴児に対する多職種連携による最適な療育方法の確立とその全 国への周知を目的としています。これにより、難聴者が健聴者と同様の社会 生活をめざす機会を提供します。
研究内容	●対象となる患者さん 聴覚障害の小児および成人の患者さんで、1997 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の間に、人工内耳植込術の手術を受けた方を対象とします。 ●利用する情報 ・患者背景：性別、年齢、基礎疾患、難聴の病因・病態、難聴以外の障害、 難聴診断年齢、新スク受診の有無、新スク後の療育方法、療育施設名、人工 内耳手術を受けた年齢、人工内耳後の療育方法、通常学校進学の有無 ・言語・聴覚検査：介入前後の言語発達の程度、介入前の難聴の程度・パタ ーン、介入前後の語音聴取能検査 ・発達検査：津森式発達検査、IT MAIS 本研究について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご 連絡ください。 ●研究の概要・方法 1. 国内で難聴児の療育を特に多職種連携により効率的に行って効果を上げ ている地域、施設の調査を行って、音声言語の獲得がうまく行った例（好事 例）を収集します。 2. これらの症例に過去の文献、報告等からのエビデンスを加味して、最良 の療育方法について検討を行い、我が国に最も適した療育の基本的アルゴリ ズムを確立します。さらにそのアルゴリズムをもとにそれぞれの地域に最も 適合した形の療育指針を作成し、それに従って療育を進める体制を整えま

	す。 3. 上記の成果を、一般への情報提供に資するリーフレット等や、最終的には CI 前後の適切な療育手法に係るガイドラインに盛り込み、広く難聴療育に携わる医療・教育従事者に周知します。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：佐藤 智生（医師） 長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7463 FAX 095（819）7499 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）